

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-187559

(43)Date of publication of application : 10.07.2001

(51)Int.Cl.

B60R 22/26

B60R 22/12

(21)Application number : 11-374916

(71)Applicant : TAKATA CORP

(22)Date of filing : 28.12.1999

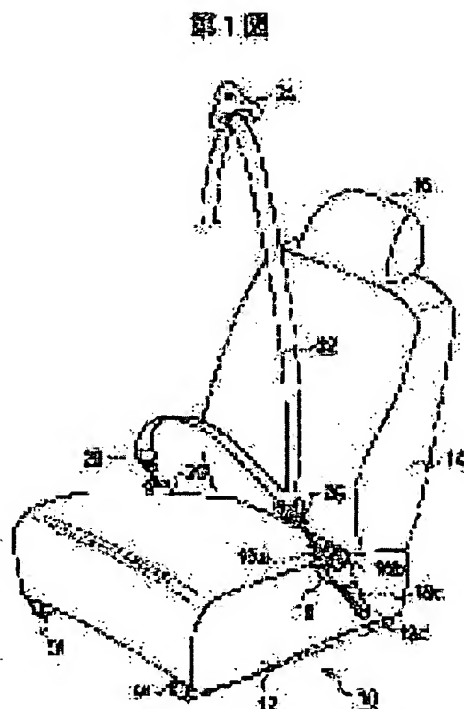
(72)Inventor : SAIGUCHI AKIFUMI

(54) SEAT BELT DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide simply and hardly release a connection of a tip end side of webbing and a lap anchor and to previously prevent a releasing by an erroneous action in a seat belt device in which the lap anchor is attachably/detachably mounted to a seat side portion.

SOLUTION: A first buckle 18 is provided at a rear portion of one side surface of a seat cushion 12 and a second buckle 20 is provided at a rear portion of the other side surface. A first tongue 26 is hung on a webbing 22. A second tongue 28 is mounted to a tip end of the webbing 22. A press button is disposed at a deep portion of a hole 20c recessedly provided from an outer surface of the buckle 20. This hole 20c is formed to a small shape such that a person's finger cannot be inserted thereto. A connection of the buckle 20 and the tongue 28 is released by inserting a narrow tool such as a pin into the hole 20c and pushing the press button.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

13.07.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-187559
(P2001-187559A)

(43) 公開日 平成13年7月10日 (2001.7.10)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テマコード* (参考)

B 6 0 R 22/26
22/12

B 6 0 R 22/26
22/12

3 D 0 1 8

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平11-374916

(22) 出願日 平成11年12月28日 (1999. 12. 28)

(71) 出願人 000108591

タカタ株式会社

東京都港区六本木1丁目4番30号

(72) 発明者 才口 了史

東京都港区六本木1丁目4番30号 タカタ
株式会社内

(74) 代理人 100086911

弁理士 重野 剛

Fターム (参考) 3D018 BA08 BA12 MA00

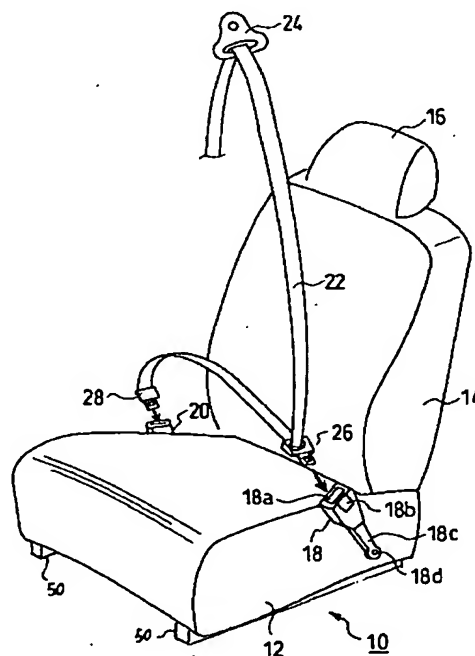
(54) 【発明の名称】 シートベルト装置

(57) 【要約】

【課題】 ラップアンカをシート側部に着脱自在に取り付けるタイプのシートベルト装置において、ウェビング先端側とラップアンカとの連結が簡単には解除できず、誤動作による解除を未然に防止することを目的とする。

【解決手段】 シートクッション12の一方の側面の後部に第1のバックル18が設けられ、他方の側面の後部に第2のバックル20が設けられている。ウェビング22には第1のタング26が掛通されている。ウェビング22の先端には第2のタング28が取り付けられている。プレスボタンがバックル20の外表面から凹陥する穴20cの奥部分に配置されている。この穴20cは人の指先を差し込むことができない小さなものとなっている。ピンのような細い工具を穴20cに差し込んでプレスボタンを押すことによりバックル20とタング28との連結が解除される。

第1図



取り付けられたショルダーアンカ24に掛け通されている。このウェビング22には第1のタング26が掛通されている。ウェビング22の先端には第2のタング28が取り付けられている。第1のタング26は第1のバックル18に装着され、第2のタング28は第2のバックル20に装着される。

【0012】第1のバックル18は従来のバックルと同一のものであり、上面にタング26の挿入口18aが開口し、この挿入口18aの縁部にプレスボタン18bが配置されている。第1のバックル18内には、タング24を係止する公知のラッチ機構が設けられている。このラッチ機構は、タング26の挿入域に対し進退可能なラッチ爪と、このラッチ爪を該挿入域に進入する方向に付勢するバネ等を備え、挿入されたタングを排出方向に押圧するバネ等を備えている。

【0013】前記のプレスボタン18bを押すと、このラッチ爪が該挿入域から進出し、挿入されていたタング26がバネの押圧力によってバックル18から排出される。

【0014】このプレスボタン18bは指先で操作する大きさのものであり、バックル18の外面に露出して周囲のバックル外面と略面一状となるように配置されている。

【0015】なお、バックル18は、下方に延出したブラケット18cがボルト18d等によってシートクッションのベースフレーム（図示略）に連結されている。

【0016】バックル20は、上面にタング28の挿入口20aが設けられている。下方にはブラケット20bが延設され、ボルト20d等によってシートクッション12のベースフレーム（図示略）に連結されている。これらのボルト18d、20dの位置は重量センサ50よりも上位となっている。

【0017】このバックル20の内部構造は前記バックル18と同一であるが、プレスボタン（図示略）がバックル20の外表面から凹陥する穴20cの奥部分に配置されている。この穴20cは人（幼児を含む）の指先であっても差し込むことができない小さなものとなっている。このバックル20に対してタング28を挿入口20aから差し込むことによりバックル20とタング28とが連結される。また、ピン状の工具を穴20cに差し込んでプレスボタンを押すことによりバックル20とタング28との連結が解除される。

【0018】この穴20cが十分に小さいので、誤って指先等がバックル20に触れてもプレスボタンは操作されず、誤操作によってタング28の連結が解除されることがない。

【0019】上記実施の形態ではウェビング22の先端に第2のタング28を取り付けているが、第4図の如くウェビング22の先端にバックル30を取り付け、シートクッション12にタング32をボルト34等によって固定し、このタング32にバックル30を装着するようにしてもよい。このボルト34の位置も、重量センサ50よりも上位となっている。バックル30の内部のラッチ機構は従来のバックルと同じである。このバックル30にも人指よりも小さい穴30cが設けられ、この穴30cにピン等の細い工具を差し込んだ場合に限りタング32とバックル30との連結が解除可能である。

【0020】なお、本発明ではタング、バックル以外の接続機構によってウェビング先端とシートとの連結を行うようにしてもよい。「容易に解離できない機構」としても上記以外の機構を採用してもよい。

【0021】上記実施の形態にあつては、ボルト18d、20d、34等の位置を重量センサ50よりも上位としているため、ウェビング22のうちラップベルト部分に張力が加えられても重量センサ50の検出値が変動せず、制度の良い体重検出値が得られる。

【0022】

【発明の効果】以上の通り、本発明のシートベルト装置は、ウェビングの先端をシートの側部に着脱可能としたものにおいて、誤操作によってウェビング先端がシートから連結解除されることが確実に防止される。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施の形態に係るシートベルト装置を備えたシートの斜視図である。

【図2】図1と反対側から見たシートの斜視図である。

【図3】第2のバックルの斜視図である。

【図4】別の実施の形態を示す斜視図である。

【符号の説明】

- 10 シート
- 12 シートクッション
- 14 シートバック
- 18 第1のバックル
- 20 第2のバックル
- 20c 穴
- 22 ウェビング
- 26 第1のタング
- 28 第2のタング
- 30 バックル
- 30a 穴
- 32 タング
- 50 重量センサ

【手続補正書】

【提出日】平成12年1月6日(2000. 1. 6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】図面

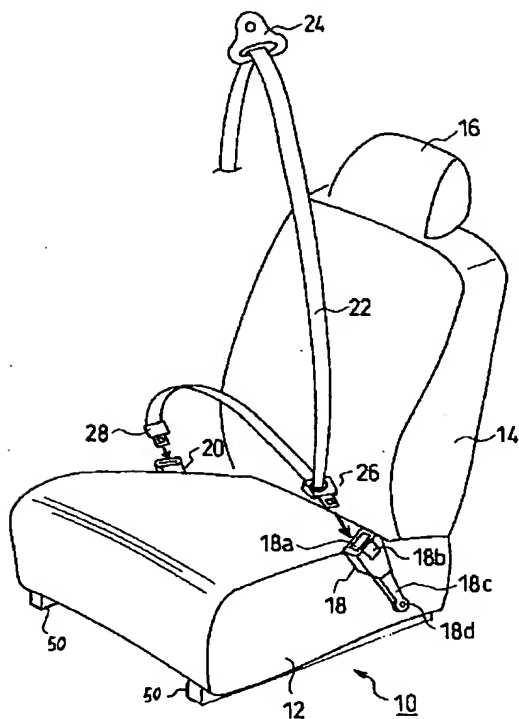
【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】

第1図



【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正内容】

【図2】

第2図

